

～Summer Reading 夏の読書～



第70回青少年読書感想文全国コンクールの対象図書【課題図書】

『ノクツドウライオウ!』

靴ノ往来堂 913 冊

佐藤まどか/著

突然、家業の5代目候補だった兄が消えた。シューズデザイナーを夢んでいた夏希は、靴職人として100年続く老舗靴店を継ぐべきか悩む。そんな中祖父が作る靴をはいた人たちにおきた魔法のような変化を目の当たりにして・・・。

『希望のひとしずく』 933 冊

キース・カラブレゼ/著

代田亜香子/訳

この町でふしぎなことが起きている。古い井戸がいきなり、願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのは、3人の中学生だけで・・・。世界のかたすみからおくる愛と希望の物語。

『アフリカで、バックの会社はじめました 寄り道多め仲本千津の進んできた道』 289

江口絵里/著

アフリカのシングルマザーの力になりたい。アフリカの貧困問題を解決するため、女性を勇気づけ、輝かせるために、迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた社会起業家、仲本千津の“進路決定”ドキュメンタリー。

戦争を知ろう



『神さまの貨物』 953 冊

ジャン＝クロード・グランベール/著 河野万里子/訳

世界大戦の最中、占領下の大きな暗い森に貧しい木こりの夫婦が住んでいた。今日の食べ物にも困るような暮らしだったが、おかみさんは、「子どもを授けてください」と祈り続ける。そんなある日、森を走りぬける貨物列車の小窓があき、雪の上に赤ちゃんが投げられた・・・。それは、ユダヤ人を収容所へ移送する列車に寄せられた父親が、我が子を生き延びさせようと窓から落とした幼子だった。絶望の中に現れた希望を絶やさないようつむぎ続ける物語。

『ぼくらの太平洋戦争』 912 冊

宗田 理/著

夏休み、兵器工場の跡地を見学に行った英治、ひとみたちは、不思議なことから、1945年にタイムスリップ!?そこは戦争の真っ最中。男子は丸坊主、男女の会話禁止、食べものもなく、ノミで眠れない。でも、ぼくらは、防空壕パーティや、いやな大人にはいたずら!戦争の悲惨さを体験する笑い涙の物語。

『ウクライナから来た少女 ブラータ、16歳の日記』 916 冊

ブラータ・イヴァシコフ/文・絵

「あなたはこれから一人で生きていくの」母のその一言からすべてが始まった。

昨日までマンガと小説が大好きな普通的女子高生だった、ブラータ・イヴァシコフ。母が必死で工面してくれた16万円を持って戦火が広がる故郷からあこがれの日本を目指す。全力で生きることへ挑戦する女子高生に訪れたやさしい奇跡と生きることへの挑戦。